

平成23年 第4回 定例会 (12月)

開会 十二月六日(火)

閉会 十二月十三日(火)

今定例会では、国指定名勝栗山園の完了に伴う管理等に関する条例の制定など条例6件・補正予算5件の議案が町長から提出され、原案のとおり承認可決されました。

また、請願陳情合わせて5件あり、各常任委員会に付託され慎重審議されました。

最終日13日には一般質問が7人により9問行われ閉会しました。

議案第59号
甘楽町税条例等の一部を改正する条例

議案第60号
甘楽町国指定名勝栗山園の設置及び管理に関する条例の制定

議案第61号
甘楽町栗山園凌雲亭の設置及び管理に関する条例の制定

議案第62号
甘楽町歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第63号
甘楽町公の施設の設置及び環境整備等に関する条例の一部を改正する条例

議案第64号

甘楽町ふるさと伝習館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

議案第65号
甘楽町一般会計補正予算(第3号)

議案第66号
甘楽町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

議案第67号
甘楽町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

議案第68号
甘楽町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

議案第69号
甘楽町水道事業会計補正予算(第2号)

請願陳情 審査結果

総務文教常任委員会へ付託

- ①年金受給資格期間の10年への短縮を求める
請願・・・不採択
- ②0・4%の年金引き下げをもとに戻すことを求める請願・・・不採択
- ③全額国庫負担による最低保障年金制度の創設を求める請願・・・不採択

社会産業常任委員会へ付託

- ④子ども・子育て新システムの導入に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書提出を
求める請願書・・・継続審査
- ⑤大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書・・・不採択

第3回 臨時会

人事院勧告に準じ、減額改定するために11月29日に開催されました。

議案第58号
甘楽町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 承認可決



県町村議会議員研修

討論

請願陳情の審査

結果不採択に対し

反対・賛成討論が

行われました。

① 反対 山田邦彦

厚労省の資料でも受給資格期間25年を今後満たすことができない人が

多くなり、無年金者が100万人を超すとしてい

ます。各国は、アメリカ10年、ドイツ5年ですが、

イギリスやフランス、スウェーデン等は「期間」

がありません。イギリスは、旧法適応対象者には、

男性11年、女性9・75年がありました。スウェー

デンは最低3年の居住が必要とされているだけ

です。国の経済力からすれば短縮できます。

① 賛成 佐俣勝彦

無年金や低年金者が国

民年金保険料の後納めをすることで、年金を受給

するのに必要な25年の加入期間を満たし、1号

被保険者の年金の増額や年金を受け取れる制度と

して「年金確保支援法」が平成24年10月に施行

される予定となつていま

す。この制度により最大1710万人が年金の増

額や無年金でなくなるとされています。現在、政

府は「社会保障と税の一体改革」において、公平・

公正な社会の実現に向けて年金制度を検討してい

るところであるため、時期尚早と考えます。

② 反対 山田邦彦

年金を引き下げた根拠

は、高校授業料無料化、IT機器等工業製品の価

格低下です。これらは高齢者の生活を反映するも

のではありません。

一方で、高齢者に必要なものは、食糧など生活

必需品や健康を維持するための医療が中心です。

高齢者の税控除制度が取り上げられ、税金が高

くなり、医療費、介護費も高くなつています。引

き下げの根拠は見当たりません。ぜひもとに戻す

べきです。

② 賛成 佐俣勝彦

年金額は、導入時から経済の上昇に伴い引き上

げられてきましたが、予測を超える少子高齢化な

どで年金財政は崩壊の危機にさらされています。

年金制度を維持するため、平成16年から現在の

の物価スライド制が導入されました。

今日日本の経済状況は大震災、円高、洪水などの

影響を受け疲弊しています。厳しい経済状況から

の立て直しを最優先課題とするためには、物価ス

ライド制の導入もやむを得ないと考えます。

③ 反対 山田邦彦

格差と貧困の広がり、

年金制度の将来不安等を反映し、国民年金の納付

率は、50%を切り、将来の無年金などが懸念され

ます。『最低保障年金』制度が必要です。経済同

友会や民主党、自民党議員連盟、毎日新聞は一か

月7万円。日経新聞6・6万円。読売新聞と共産

党は5万円。額のちがいはあるにしても、その必

要性を認めています。請願の趣旨はよく理解でき

ますので、『採択』すべきです。

③ 賛成 佐俣勝彦

公的年金制度は、産業構造の変化や都市化・核

家族などにより、家族内で高齢となった親の生活

を支えることは困難となり、社会全体で高齢者を

支え、誰もが安心・自立して老後を暮らせるため

の社会的な仕組みとして制度化され、多くの国民

が加入し保険料を納めて維持してきました。保険

料を納めてきた者との公平性に欠けると考え、ま

た、年金制度の崩壊を招きかねないと思います。

⑤ 反対 山田邦彦

医師・看護師は、時間

的にも精神的にも非常に厳しい労働条件で働いて

います。医療事故や、普段の接客等に対する世間

の厳しい目と『クレーム』の台頭。その大本に

あるのは『人手不足』が大きいと思います。医師

や看護師が確保されずに病院や医院が閉鎖される

ことは日常茶飯事となつてしまいました。

請願趣旨は、全くその通りで『不採択』にする

ことはまさに民意に背くと見え本心に残念です。

⑤ 賛成 江原榮和

医師、看護師等が不足しているとの陳情で、医

療現場は、長時間・過密労働により離職率の高い

状況も現状にあり、これが原因で深刻な人手不足

につながる悪循環から、現場の努力だけでは、安

心・安全の医療・介護を守ることに困難になつて

いるとの意見もあり、増員の要望は理解できます

が、看護師等の増員だけでは抜本的な根本的な解決

には至らず、医療法人等における医療現場の努力

も必要であるものと考えます。